

平成24年産

# 春夏瓜類・春野菜出荷大会

**挑戦！ 野菜王国くまもと**

～ 「結集」そして「飛躍」～



水の恵みと大地の香り

日時：平成24年3月8日（木）14:00～

場所：ホテル日航熊本

主催 熊本県経済農業協同組合連合会

後援 社団法人 熊本県野菜振興協会

## 平成24年産 春夏瓜類・春野菜出荷大会次第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 来賓挨拶
4. 生産・販売計画並びに基本方針
5. 消費地からのメッセージ
6. 講 演
7. 産地への応援メッセージ
8. 大会宣言
9. ガンバロウ三唱
10. 閉 会

## 平成24年産 春夏瓜類・春野菜 生産概況

### 【春夏瓜類】

本年度のすいか類の作付面積は、864ha（前年比98%）、出荷計画28,869t（前年比100%）で、ここ数年、面積減少の下げ止まり傾向がみられていたが産地によっては小玉すいかの作付増のため、すいか類の面積が増加に転じた産地も見受けられる。大玉すいかについては、作付面積は771ha（前年比98%）で前年よりわずかに減少しているが、小玉すいかについては、高温期の品質対策と販売期拡大による黒小玉の導入が進み本年度も作付面積93ha（前年比106%）と面積が増加している。

メロン類については、面積の減少に歯止めがかからない状況で作付面積399ha（前年比94%）、出荷計画9,852t（前年比94%）となっている。品目別にみるとアールスは大部分の産地において面積が減少しているが、品種集約が進んでいるアンデス、クインシーについては減少率が少なくなっている。

### 【春野菜】

本年産の春野菜の作付面積は、2,233ha（前年比102%）、出荷計画68,813t（前年比103%）で高齢化による作付面積が減少している産地がある一方で産地振興が図られ新たな新興産地も育成され前年より増加した計画となっている。

品目別にみると、抑制作からの作型延長が進んでいるトマトや他品目からの転換によるミニトマトなどのトマト類が面積を拡大しており、また、近年栽培が拡大しているブロッコリー、キャベツ、馬鈴薯、アスパラガス、スナップ豌豆等の品目で面積が増加している。

（単位）面積：ha、数量：t

	主要品目	作付面積		栽培戸数		出荷数量（3～6月）		前年対比		
		本年A	前年B	本年C	前年D	本年計画E	前年実績F	A/B	C/D	E/F
春夏瓜類	大玉すいか	770.6	789.5	1,281	1,352	26,672	26,691	97.6	94.7	99.9
	小玉すいか	93.4	88.4	312	298	2,197	2,146	105.7	104.7	102.4
	すいか類計	864.0	877.9	1,593	1,650	28,869	28,837	98.4	96.5	100.1
	アールス	67.5	78.4	148	173	1,707	2,022	86.1	85.5	84.4
	アンデス	104.6	107.4	442	482	2,542	2,777	97.4	91.7	91.5
	ホームラン	22.1	23.6	103	114	496	524	93.6	90.4	94.7
	クインシー	105.4	108.0	299	341	2,700	2,860	97.6	87.7	94.4
	肥後グリーン	49.5	48.4	189	198	1,265	1,117	102.3	95.5	113.2
	その他メロン	50.0	59.4	245	284	1,142	1,204	84.2	86.3	94.9
	メロン類計	399.1	425.2	1,426	1,592	9,852	10,504	93.9	89.6	93.8
	瓜類総計	1,263.1	1,303.1	3,019	3,242	38,721	39,341	96.9	93.1	98.4
春野菜	ごぼう	104.0	104.0	122	123	1,520	1,467	100.0	99.2	103.6
	キャベツ	162.5	149.0	320	283	3,943	3,801	109.1	113.1	103.7
	アスパラガス	76.6	73.2	369	366	769	580	104.6	100.8	132.6
	きゅうり	21.7	21.5	168	166	1,103	952	100.9	101.2	115.9
	なす	106.3	104.3	314	315	9,653	8,498	101.9	99.7	113.6
	トマト	346.0	338.5	668	675	24,470	26,204	102.2	99.0	93.4
	ミニトマト	189.5	187.7	508	487	9,814	9,213	101.0	104.3	106.5
	馬鈴薯	147.0	130.3	221	223	3,375	2,993	112.8	99.1	112.8
	たまねぎ	93.8	92.2	218	214	3,493	2,961	101.7	101.9	118.0
	その他野菜	986.0	993.2	2,215	2,223	10,673	10,404	99.3	99.6	102.6
	野菜総計	2,233.4	2,193.9	5,123	5,075	68,813	67,073	101.8	100.9	102.6

# 基本方針

## 挑戦！ 野菜王国くまもと ～「結集」そして「飛躍」～

JAグループ熊本は、産地の結集の下、野菜・果実の供給責任を全うし、産地の想いを届けるとともに、信頼される産地、お客様に満足と感動を与えられる産地を目指し、挑戦し続ける。

1. 重点化による販売ルートの特明確化
2. 的確・タイムリーな情報の収集・提供
3. 多様化する消費に対応できる商品づくり
4. 消費拡大につながる販促活動

販売目標金額 291 億円

〔瓜類 100億円 野菜 191億円〕

# 消費地からのメッセージ

(株)ダイエー 食品本部 プロデュース&フラワー部  
CMD 堂本 典宏 氏

(株)フィールコーポレーション 農産部  
果実チーフバイヤー 稲生 靖之 氏

生活協同組合コープこうべ 生鮮食品部 農産バイヤーチーム  
担当課長 水島 宏幸 氏

# 講 演

演題：「野菜・果実の機能性」について

講師：東医食治研究会 会長 田村 哲彦 氏

# 大会宣言

我々 生産農家は、熊本の恵まれた立地条件を生かし、組織力、技術力で、消費者から支持される産地づくりを進めてきた。

しかしながら、近年の青果物を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足など、構造的な課題に加え、生産資材価格の高止まり、更には、経済不況に伴う、消費動向や流通の変化など、農家経営は困難な状況にある。

このような中、JAグループでは、収量アップ・品質向上に努め、「くまもとブランド」の確立と、安全でおいしい果実・野菜の機能性や生産者の想いを消費者に届けていく一方で、安定供給体制を支える、精度の高い産地情報を発信することが、適正価格確保につながると確信している。

今後、さらに産地が結集し「野菜王国くまもと」の確立に向け挑戦し続けることを、ここに宣言する。

平成 24 年 3 月 8 日

熊本県野菜振興協会

園芸部長会 部会長 本島 秀逸

# ガンバロー三唱

熊本県野菜振興協会 女性部長会 部会長

徳永 みどり



~ X E ~



**JAグループ熊本**

熊本県青果物消費拡大協議会

ホームページへのアクセス

野菜王国くまもと

検索

